

平成 31 年度 第 1 回自己評価委員会 議事録

実施日：平成 31 年 4 月 17 日（水）15：30～17：30

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティール専門学校 職員室

出席者：委員 池山英一（理事長・校長）
山口 孝（理容科専任・美容科兼任教員）
森山郁子（事務主任）
猪股奈津子（事務職員）
高橋秀典（美容科専任教員）
水野 亮（美容科専任教員）
磯部臣史（理容科兼任教員）

順不同

委員会次第（概要）

1. 開会

（1）理事長・学校長挨拶

2. 議事

事前に会議出席予定者に回覧した別紙自己評価（案）を基に会議を進行

（2）自己評価（案）について報告

（3）自己評価（案）に対する意見及び質問

3. 閉会

上記委員会次第「2. 議事進行」概略について

(1) 専修学校における学校評価・情報公開のイメージについて

- ・山口より、別紙添付資料に基づき説明。主な内容として、平成 29 年度より、職業実践専門課程を設置する専修学校専門課程が公表すべき様式の一部に変更があり、職業実践専門課程の基本情報についての中に、「第三者による学校評価」欄が追加されたことを報告する。

(特に質問等はなし。)

(2) 自己評価 (案) について報告

- ・山口より、別紙自己評価 (案・回覧済) に基づき、学校の教育目標から 30 年度に定めた目標計画、評価項目 (1) 教育理念・目標から (1 1) 国際交流について評価点数や評価点数に至った根拠を説明する。

(3) 自己評価 (案) に対する意見及び質問

(1) 教育理念・目標

- ・「理容総合技術 (理容科)」「美容総合技術 (美容科)」のなかで、インターンシップ (実務実習) を実施しているが、「理容師美容師関係法令」の「Ⅱ基本通知」の「第 4 章理容師美容師養成施設 理容師美容師養成施設の教科課程の基準運用について」に準じて実施している。

(2) 学校運営

- ・平成 30 年 4 月 1 日付で就業規則を改正した。
- ・学生自身が ID やパスワードを使いスマホなどインターネット上にテストの結果や各種取得資格を記録として蓄積できるデジタルサービス「Classi クラッシー」を導入。
- ・各理事・役員も理事長直轄の下、財務・教務・総務・渉外の各担当を決める。

(3) 教育活動

- ・文科省委託事業「専修学校教職員資質能力プログラム開発」に参加し、理容師・美容師職種における学修成果の可視化を実現するためのコンピテンシー体系を構築した。
- ・産学連携に関して、名古屋国際ホテル様の協力をいただき、ブライダル分野の連携を図る。

- ・ヘアカラー実習ではウィックではなく、人体で行う。また技術大会への対応として、カット実習を早めた。
- ・経営者ではなく教職員も外部経営セミナーに参加。

(4) 学修成果

- ・インターンシップは例年の6月だけでなく、10月・11月にも実施。また平日だけでなく土日祝日も入れ繁忙時の対応も学習できるようにした。県庁への届出によって技術者としてインターンに参加している。
- ・国家試験の合格率が昨年の通信含め、とてもよかった。
- ・退学者は昼間課程2名発生。
- ・卒業生就職サロン側から書面にて近況報告を求めている。
- ・通信課程の生徒が増えている分、退学者防止へのフォローアップを検討中。

(5) 学生支援

- ・通信短期コース（高校とのWスクール）にとっては、高校よりも当校の方が理美容関係の求人は充実しており高校生の期待に添えるようにしている。
- ・学費入学時0円サポートを実施している。
- ・雇用保険 教育訓練給付金制度の利用者が多くなり、書類準備に時間がかかる。
- ・文科省委託事業 「職業実践専門課程に相応しいポートレートシステムの要件定義」に参加し、学修に必要な情報を効率的かつ、職業教育の国際通用性にも配慮したデータベースシステムの開発に協力した

(6) 教育環境

- ・インターンシップは日数を増加。その際、営業を伴う実務実習を行っている。
- ・海外研修（ロンドン）も今までと異なり、1日みっちりかけて研修。（例年は2時間ぐらい）その際、参加者1人に人体モデルが1人つきシャンプー・カット・ブローの実習。

(7) 学生の受け入れ募集

- ・定員に対する充足率は、30年4月入学生 理容科16%、美容科6.6%。29年度に第三者評価より抜本的な改革を求められるが、何ら実施せず。
- ・学校及び理容師・美容師の魅力を伝えるため動画配信を始める。
- ・社会に向けての地域活動等は昨年同様、名古屋地協メーデー、大興運輸、今池まつりに加え、日進市児童養護施設、障害者施設年末イベントに参加する。
- ・高校訪問は自校職員だけでなく、教育媒体業者にも学校訪問してもらい、当校に対するリサーチをお願いする。

- ・入学者及び紹介者両者に特典がある「入学者紹介制度」をスタート。

(8) 財務

- ・学生納付金収入に著しく偏った経営から収益事業の方向性を以前から検討課題としてきたが、何ら進展していない。
- ・2019年10月の消費税率改正に伴う本校の費用負担増に際し、具体的な対応が明確になっていない。

(9) 法令等の厳守

- ・特に意見なし

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・(7) 学生の受入れ募集の一部と同じ

(11) 国際交流

- ・特に意見なし

※自己評価（案）と以上の意見を基に、自己評価が出来上がる。

記録：山口